

Title	編集後記
Sub Title	
Author	加藤
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1962
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.55, No.5 (1962. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19620501-0099

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論 説

集团的企業の下における

農業生産力の発展と拡大再生産方式……………平野絢子

表式的均衡と生産価格……………持丸悦朗

いわゆる「啓蒙の概念」について……………田中明

資 料

ファルムをめぐる若干の問題……………渡辺國廣

——十七世紀フランス農業史の研究——

書 評

入江節次郎著

『独占資本イギリスへの道

——現代への序曲——……………飯田鼎

新刊紹介

前号目次

論 説

生産力の発展と資本制生産の

「内的諸矛盾の開展」……………井村喜代子

擬制資本の論理……………飯田裕康

資 料

ジョン・フランシス・プレイ(四)……………遊部久蔵

十八世紀フランスの分益制……………渡辺國廣

東独における宗教改革と

農民戦争の研究の現状……………寺尾誠

書 評

O・D・ダンカン他著『統計地理学』……………高橋潤二郎

新刊紹介

編 集 後 記

先日、ある座談会に出席した折、「経済学者をはじめとして、社会科学者に、自殺をする者がいない」という話があった。この命題が真実であるかどうか、統計的に調べてみたわけではないので、私には即答しかねた。しかしそう言われてみると、ドイツ歴史学派の巨匠リストが自殺をしたとかきいている以外、寡聞にして指折って教える名前を知らない。

ただ私なりに考えてみると、この命題はかなり真実性をもっているように思われる。というのは、元来、経済学をはじめ社会科学は、私たちの周りを取りまき私たちのものである筈なのに、私たちに巨大なシステムとなって襲いかかってくる社会を、何とかしてつかまえようとする科学なのである。それだからこそどんなに不条理で、どんなに私たちに絶望を感じさせようと、それでもなお社会科学者は希望をもち、現状を改革して行こうとする熱情を捨てていない。四面を壁で囲まれた複雑な社会の中で、価値選択を迫られても、経済学者は、絶望することなく、人間に夢をもって生きようとするのではないだろうか。

一つ一つの地道な労作がいつかは私たちに夢を与えてくれるにちがいない。
私の好きなビグーの一句がある。「カーライル曰く、哲学の初めは驚異である。しかし経済学の初めは、むしろ汚穢な巷と暗い生活に憤る社会的情熱である。」

(加藤)

昭和三十七年五月一日 発行

◎ 三田学会雑誌 第五十五巻 第五号

定価 一三〇円(送料)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 山本 登

発行人

電話三田(41)五一八一

振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者

東京都港区芝三田豊岡町八番地

図書印刷株式会社

安 倍 七 郎

半カ年予約購読料(送料共) 七二〇円

一カ年 " " 一四四〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発売所

東京都高輪局区内三田綱町一番地

慶 應 通 信

振替口座番号 東京一五五四九七